

小牧商工会議所 理財金融業・サービス業・商業部会主催
講演会・交流会のご案内

【事業を止めるな！】～事例に学ぶ 乗り越える力と継続のカギ「BCP」～



この度、理財金融業部会ではサービス業部会・商業部会と連携して事業継続計画「BCP」の講演会を開催します。自然災害やリスクに対する知見を広げていただき、会社組織の防災意識を向上させ、災害時の影響を最小限に抑える体制の構築を目指していきます！

講演会では、事業継続計画（BCP）について解りやすく説明します。また、情報交換と親睦・交流の場として、交流会も開催しますので、ぜひご参加ください。

■ 9月19日(金) 開催

講演会・交流会 概要	
会場	グランスイート迎賓館(旧アンジェリーナスイート) 小牧市小牧原新田2159-1 TEL：0568-48-0800 ※駐車場には限りがあります。公共交通機関でお越しください。
募集定員	50名（1社2名まで）※先着順
開催時間・内容	18：00～20：30 第1部 ミニ講演会 18：00～19：00 【事業を止めるな！】～事例に学ぶ 乗り越える力と継続のカギ「BCP」～ 講師：株式会社ACC 代表取締役 藤井 健太郎 氏（中小企業診断士） 第2部 交流会 講演会終了後 ～ 20：30
参加費	5,000円/1名（税込） 参加費は当日集金致します ※9月12日（金）以降のキャンセルは参加費を請求いたします
その他	9/5（金）までにFAXまたは下記QRコードより お申込みください
問合せ先	小牧商工会議所 担当 田中 堀 安永 TEL（0568）72-1111 FAX（0568）76-2581 メールアドレス tanaka.tomohiro@komaki-cci.or.jp

【申込書】

ご記入頂いた情報は、当日配布する名簿の作成や参加申込み状況の把握の他、
当所が行う事業の実施・運営や、当所からの各種連絡・情報提供のために利用します。

事業所名		
参加者①	氏名	役職
参加者②	氏名	役職



▲申込QRコード

当事業では軽食やアルコールを含む交流会を計画しております。
アルコールを飲まれる方はお車でのお越しはご遠慮ください。

防災備蓄品 ご購入サポートサービス

セミナー当日、会場にて
ご案内いたします

こんなお悩みはございませんか？

悩み1

何をどのくらいを
購入すればよいかわからない

備蓄品として何を購入しておけばよいかわからない

どのくらいの量を備蓄品として
用意しなければならないのかはっきりしない

どこから購入すればよいかわからない

悩み2

保管場所をどうすれば
よいかわからない

備蓄品を保管したいと考えているが、社内に空き
スペースがないため、どこに置けばよいかわからない

災害時になるべく取り出しやすいようにしたいが、
どこに収納すればよいかわからない

悩み3

サービスを比較検討
しているが、価格が見合わない

法人向けのサービスをいくつか比較しているが、
社内の予算感に合わない

他社サービスは一括購入のため、
必要量によって価格を調整できない

防災備蓄品の購入/保管に関するお悩みを解決します！

ユニット1Dayレスキュー

備蓄品専門ECサイトで購入することができる**1日1人分の備蓄品**をまとめたボックス
期限のある内容物のみを入れ替えることが可能なため、**入れ替え時のコスト**を削減
A4サイズのためデスクやロッカーに収納可能で、**保管スペース**と**緊急時の配付**の不安を解決



特長
1

入れ替え時のコスト削減

期限のある外側(OUTER BOX)だけを入れ替え、期限のない小箱(INNER BOX)を継続使用することで、コストを約2/3に抑えることができます

期限なし
(分離可能)



期限あり

入れ替え不要/
INNER BOX

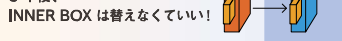


5年で入れ替え/
OUTER BOX



入替時のコスト 約 2/3

5年後、
INNER BOX は替えずにいい！



特長
2

保管スペース削減&
すぐに利用可能

被災直後でも配布を待つことなく即利用可能配布や
保管・管理のロード削減が可能
保管用のスペースの確保が不要・削減される場所を
忘れてしまうリスクも低減



特長
3

品目選定の悩みを解消する
3つのバリエーション

INNER BOXに選べる3つのセットをご用意
ベースの「基本」に加え、帰宅支援用の「帰宅」、
滞在支援用の「宿泊」を選択可能

INNER BOX
基本

必要なものを詰め込んだ
ベーシックタイプ

INNER BOX
宿泊

非常用トイレを増量し、
衛生用品を加えた宿泊タイプ

INNER BOX
帰宅

ボンチョやホイッスル、スマホ
充電器を備えた帰宅タイプ

備蓄例

ユニット1Dayレスキューを使った防災備蓄

国や自治体のガイドラインでは、「**3日分の非常用備蓄用品**」を
備えることが企業の努力義務として定められています

**1日分をユニット1Dayレスキューで、2-3日目分を個別の食料
品・飲料水・簡易トイレで備える**備蓄方法をオススメします

ユニット
1Day レスキュー



+

2-3日分の備蓄



食料品



飲料水



簡易トイレ